

普及活動情勢報告（令和4年3月分）

高吾農業改良普及所

イチゴの担い手確保への取り組み～研修生との面談～



佐川町内でイチゴでの就農を目指し農家の元で研修をしている研修生が1名おり、佐川町担い手育成総合支援協議会が中心となり毎月面談を実施しています。

普及所では、普及所が作成したイチゴ新規就農チェックシートを使い栽培技術の習得状況を確認しながら、就農に向けて支援しています。

研修生からは面談で「農地やハウス取得に向けていつまでに何をしたらよいか」といった不安の声があり、関係機関と連携して農地やハウス取得に活用できる補助事業や必要経費を研修生と検討しました。また、就農までの具体的なスケジュールと関係機関での役割分担を共有しました。

今後も普及所は、研修生のスムーズな就農と早期経営安定を目指して関係機関と連携し支援していきます。

ニラ月例会の開催



3月4日、コスモスニラ生産部の月例会を開催し、生産者8名の参加があり、目慣らしや出荷実績の確認をしました。

普及所からは、効果的な土壌消毒方法や管内で発生した育苗トラブル事例などについて説明しました。生産者からは、「（蒸し込んで白化した苗について）回復できるのか？」「蒸して育てるよりは、冷やしてゆっくり育てたほうが良い」といった声があり、適正な育苗管理の徹底が図れています。

普及所は今後も、ニラ生産部の収量品質向上に向けて支援していきます。

第2回高吾地区農業改良普及推進協議会を開催



3月1日、コロナ禍ではありましたが、第2回高吾地区農業改良普及推進協議会を開催しました。農家代表5名が参加し、令和3年度の活動及び次年度計画について協議を行いました。

農家代表からは、「トマトの汁液濃度測定による生育診断」や「ニラ女性勉強会」、「ピーマン個別巡回等」の活動に高評価を得ました。一方で、中山間地での茶栽培の厳しい状況により農地を維持していくために担い手の確保や多品目への転換など深刻な課題も提起されています。

提起された内容については次年度の普及計画にも盛り込んでおり、普及所では各町村の関係機関と連携を取り課題解決に取り組んでいきます。